

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

社名	株式会社アイリンクス	都道府県	新潟県
業種	サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	24名
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活情報サービス業 ・レンタルオフィス業 ・IT/WEB関連業 ・デザイン/広告物制作業 		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則の本則や細則で定めている
テレワーク担当部署	
テレワーク対象者	全職種(イベント司会アルバイト除く)
実施者数	11名
実施日数	月12回以上20回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- ・子育て世代の女性の就業支援を行うことで、将来の人材確保を行う
- ・怪我で出社できなくても、業務が円滑に進むようにする為
- ・WLBで仕事だけではなくプライベートも充実することで、仕事への意欲アップを狙ってます
- ・自立性をもって仕事を行うことで、他よりも早いスピードで業務を遂行できるように育てる為

テレワークの概要・特徴

〈概要〉

各自が自主的に業務内容及び他の社員の不在状況を判断しテレワークを行えるよう、定款及び社風やインフラが整備されている。

〈特徴〉

各自にノートパソコンを配布し、VPNにて社内ネットワークにいつでもアクセスできるようにし、在宅で業務ができるような体制作りができています。
 ノートパソコンには、HDDの暗号化及びパスワード認証を施しており、2分程度でスリープ状態になり解除時にはパスワード認証が必要なようにし、盗難にあったとしても情報漏洩が無いよう、安全面に考慮し配布。
 このようなインフラ関係の整備を行いながら、在宅業務が円滑に進むような独自のWEBポータルを構築。タイムカードシステムにより各自の行動把握、情報共有ページによる細かな情報の共有を可能にし、職場勤務者と在宅勤務者の距離を縮め、双方にとってデメリットのないものとなっている。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

・人材の定着化

育児や妊娠、体調不良で職場への出勤が困難になった従業員が、これまでと変わりなく勤務し続けられることにより、優秀な人材の定着化という効果があった。優秀な人材の雇用継続は、新しい人材確保のために人件費、教育費等の社内コストの削減にもつながった。

・一定の業務量の確保

以前鬱を患ったことのある社員が昨年より、午後から体調を崩すことが多くなり(蕁麻疹、微熱、腹痛)、終日会社で勤務することが困難になり、無理をしながら業務をこなすことにかかるストレスにより、業務量や速度の低下がみられるようになった。そこで、午後からは在宅で勤務することを選択。それによりストレスが軽減され、業務量の低下の改善、体調面の回復、労使ともにプラスとなった。

・育児休暇取得予定者

2018年1月出産予定の社員が育児休暇取得予定。完全復帰にむけて在宅で慣らし業務も検討中。(これまでの取得人数はゼロ)

・WEBミーティングの実施による交通費削減

四半期に一度のペースで実施している婚活部門ミーティングを、在宅のまま参加OKとすることで、交通費80,000円の削減となった。